

鳥取大学教育総合センター 平成17年度教養特別講義 (公開)
「創造と人間：人生をもう少しクリエイティブなものにするために」
「生きる」ことは、本来「創造的なもの」。

05.9.29 3限13:00-14:30「仕事研究と私の人生」

四木 信(よつぎ・しん) / O W L 仕事研究室 <http://homepage3.nifty.com/OWL/>
大阪府羽曳野市羽曳が丘西3丁目6-21 T&F:0729-56-7484 e-mail:BZY12347@nifty.ne.jp

1950年大阪市生まれ。京都工芸繊維大学卒業。
1968年18歳高校3年生の夏頃より「仕事・職業について」考え始める。
1973年23歳「仕事観の研究」を自らの人生テーマと決める。
1976年26歳「仕事観の問題」は「日本社会の問題」であると思うようになる。
1980年30歳「仕事観」関連図書資料を公開するため「仕事図書室」を大阪市内に開設。
1988年「仕事図書室」を自宅内に移設、「O W L 仕事図書室」と改称。
(O W L :アウル:Original Working Life:主体的仕事人生)
1989年より「仕事・人生」をテーマに、講演会・講座を随時に公開開催。
1993年4月より「O W L 仕事研究会」を月1回公開開催。(2005年9月で123回開催)
1995年より『O W L』誌を月刊発行。「O W L 読書会」を随時に公開開催。
2004年9月「O W L 仕事図書室」を「O W L 仕事研究室」に改称。

1. 私の人生と仕事観：20歳前後5年間の、私の心の内

生きること、仕事(すること、為すこと)、職業、社会、と初めて向き合う。
私はこれから、どう生きるか？ 何を職業にして、どういう世界で生きるか？
職業とは何か？ 仕事とは何か？ 生きるとは何か？

私は何をしたいのか？ 何ができるのか？ 今は何もできない私の、「生きる道」を考える。
生きるのが苦しくて、死と生の間を彷徨っていた。
苦しみ、悲しみと、向き合って生きよう。それが、より人間らしい生き方。

自分の人生を賭けるに値する、価値あるテーマの役に立つ生き方をする。

- 「私ができること」は2種類ある。(一般には「やりたいことを、できるところまでやる」のみ)
- 1) 価値あるテーマに役立つことを、自分ができるところまで精一杯やる。
 - 2) 自分中心ではなく、価値と社会を中心に考えると、他人をサポートすることによって、自分一人の力でできる以上に、役に立つことができる。

私は20歳前後の時期に、自分の生き方・働き方について悩み、苦しかったことがあります。自分が真剣に考え行動する世界としての職業・職場について、自分と社会をつなぐパイプとしての仕事について、20歳を目の前にしてようやく本気で考え始めました。しかし20歳になっても納得できる仕事観を持つことができなかった。なさけなかった。結局、約5年間も考え、悩み、苦しんだ末、23歳の時に、仕事観を自分の人生の課題にして生きていこう、と居直るような気持ちで、心を決めました。

2. 仕事づくりは、人生づくり、自分づくり、社会づくり：20歳の頃から35年間の、私の仕事観

仕事とは、自己と社会を結ぶパイプである。自己と社会をつくる本源(origin)である。

為すこと(為事：仕事)によって在る。

人間とは、価値あるテーマを持って仕事をする生きものである。

人間は、我を忘れて、私を無にして、社会の為に、人の為に、役立つことをする。

その結果、ふと自分を振り返ると、今の私という殻を破って、私の世界を越えて、私の世界の外に、客観的に自覚できる、本来的な、大きな「私の世界」を創造していることに気づく。

古来、「人間とは・・・である」といろいろな言葉がありました。いろいろな人間観がありました。

私は、「テーマを持って生きる」ことが最も人間らしい、と思っています。「人間とは価値あるテーマを持って仕事をする生きものである」と考えています。人間らしい人生とは、「自らの一度きりの生命を賭けて悔いない価値あるテーマに貢献すること」、「我を忘れて、私を無にして、為すこと、働くこと」と考えています。

「テーマを持って生きる」のは学者・研究者のことだろう、と一般的に思われているかもしれませんが、私は、人間はだれしも「テーマを持つ」ことが最も人間らしい生き方だと思っています。

テーマを持って生きている人は、生き方の軸がはっきりしているから、理解しやすく、信頼度が深まります。そして何よりもすがすがしく感じます。そんな人と出会うと、話しているだけでうれしくなってきます。

Who are you? 「私は 何をテーマにして生きている人間です。」

こんなふうに答える人が大勢いる社会に、21世紀はなってほしいと思います。

4限14:40-16:10「仕事観をめぐって：受講者との対話」

あなたにとって、仕事とはいったい何でしょう？

生きるのは、仕事をするのは、「自分のため」or「社会のため」？

「自分づくり」=「社会づくり」？

自分が社会をつくり、社会が自分をつくる？ 自分がつくる社会が、新たな自分をつくる？

「私閉人間」 「公開人間」

「to have:もつこと」 - 「to be:あること」 / Erich Fromm

「なること」 - 「すること」 / 内村鑑三 / 山本七平 / 「職」 - 「業」

経営の3要素：ヒト、モノ、カネ、(情報)

職業の3要素：個性、社会性、経済性、(継続性) / 尾高邦雄

仕事の3要素：自己(私)、社会(公)、価値(生き方)